

2010年度

# 環境レポート

対象期間 2010年1月～2010年12月

作成日：2010年1月22日  
更新日：2011年3月31日



株式  
会社

フォーミット

## ごあいさつ

当社はこれまで各種自動省力機械を始め、様々な産業機械の設計・製作に従事して参りました。これまでに蓄積したノウハウを駆使して、『独自の発想』と『確かな技術』でお客様の信頼にお応えしております。今後とも常に高い目標を掲げ最先端の技術に挑戦し、新しい時代を切り開くパートナーとして、皆様に貢献できますよう努力して参りますとともに、社員一人ひとりに環境にやさしい取り組みを根付かせ、それが家族や地域社会に広がりを持つように活動を続けていきます。

代表取締役社長 中林 康二

## 環境方針

- 1 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境保全に貢献します。
- 2 省エネルギーなど、環境負荷を考慮した技術開発に努めます。
- 3 省エネルギー、省資源、再生資源利用商品など、環境負に配慮した物品の調達に努めます。
- 4 保全の理解を深めるため、社内外の関係者を巻き込んで環境管理活動を推進します。
- 5 国や地域において定められた法律や規則を遵守すると共に、一層の継続的改善と維持管理に努めます。

制定日：2003年5月26日

改定日：2010年3月15日

代表取締役社長 中林 康二

## 組織の概要

- ( 1 ) 名称及び代表者名  
株式会社 フォーミット  
代表取締役社長 中林 康二
- ( 2 ) 所在地  
大阪府豊中市原田元町 2 - 2 1 - 4
- ( 3 ) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役社長 中林 康二 TEL : 06-6845-4310  
担当者 S E (システムエンジニア)部 宮原 秀樹 FAX : 06-6842-3510
- ( 4 ) 事業内容  
自動制御機器の設計、製作、販売
- ( 5 ) 事業の規模  
社員数 3名  
事務所延床面積 50m<sup>2</sup>
- ( 6 ) 事業年度 1月～12月

## 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 フォーミット

対象外： なし

活動： 自動制御機器の設計、製作、販売

## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2008年	2009年	2010年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	18,536	9,384	4,061
廃棄物排出量	kg	2,439	532	40
水使用量	m <sup>3</sup>	164	112	-

電力の二酸化炭素排出係数：0.378

2010年3月より事業所使用面積が568m<sup>2</sup>から50m<sup>2</sup>に縮小になったため、目標基準値を大幅に見直しました  
上記理由により本年度から環境負荷の計測基準値を新たに設定しました

2010年3月より水使用量は事務所移転のため共用メーターになり把握不可となりました

## 環境目標・実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2010年 上段：通年		2011年 (目標)	2012年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,297	4,297	4,061	4,169	4,126
	基準年比	2010年	100%	95%	97%	96%
廃棄物量の削減	kg	75	75	40	73	72
	基準年比	2010年	100%	53%	97%	96%
グリーン購入(新規)	円	全購入金額に 対する比率	75%	100%	75%	75%
	基準年比	2010年				
環境負荷を考慮した 技術開発(新規)	ソフト数	全納入数に 対する比率	60%	100%	60%	60%
	基準年比	2010年				

水道の個別メーターがないため、行動目標とします

## 環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

よくできた    ままできた    あまりできなかった    ×全くできなかった

環境活動計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
<b>電力の二酸化炭素削減</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・クールビズ、ウォームビズ運動の推進		継続	年度目標値に対し約95%で達成できた。クールビズ、ウォームビズ運動や電化製品未使用時の電源off活動もよく浸透している。更なる省エネルギーを達成するための活動計画を展開し経営改善に役立てたい。
・電化製品未使用時の電源off		継続	
・事務所照明を高効率な蛍光灯に交換		継続	
・使用電力量の案内で節電意識向上		変更	
・PC待機電力カット		継続	
<b>自動車燃料の二酸化炭素削減</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・遠方の出張は公共の移動を呼びかけ		継続	社有車を処分しガソリンの使用実績なし。公共交通機関を積極的に利用した。
・経済速度での走行		継続	
・事前経路確認で無駄な走行を無くす		継続	
<b>廃棄物量の削減</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・リユースやリサイクルの利用頻度を向上		継続	事業大幅縮小に伴い廃棄物の種類、量ともに減少した。移転に伴う廃棄物により目標未達成の月もあったが、3R運動の推進や私物ごみの持ち帰り運動など適正廃棄に対する取り組みが実施できた。
・産業廃棄物の適正廃棄		継続	
<b>水道水の削減</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・節水運動を引き続き呼びかる			行動目標として全員に節水意識を高める
<b>グリーン購入(新規)</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・最新のカタログを参考に環境負荷低減商品を確認購入する		継続	作業手順に盛り込まれ取行されている
<b>環境負荷を考慮した技術開発(新規)</b>			
数値目標		上方修正    下方修正    基準見直し	
・一定時間空運転状態となった時、省エネモード運転となるソフトプログラムの提供		継続	業績低迷のため提案できた案件は少なかったが、引き続きユーザーに採用されるよう継続して積極的に活動する。

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
グリーン購入法	購入物品
自動車リサイクル法	自家用車

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

環境活動が定着し、取引先のQC活動のテーマとしても社員全員で取り組みました。今後は環境活動を活用し経費低減が出来る活動を増やしていき、より一層の環境保全に勤めたいと思います。

## 環境活動の紹介

環境方針にも記載していますが、弊社では環境負荷を考慮した技術開発に努めています。本年度のテーマの一つに”省エネモード運転となるソフトプログラムの提供”があり、ユーザに提案し採択されるようになってきました。その一例をご紹介します。

製造ラインに於いて稼働率を上げることは重要課題です。しかし機種変更による段取り替え作業等で、装置はどうしても待機状態もしくは停止状態が発生します。待機状態の時は装置が稼働状態(運転状態)となっていますので電気容量が加算されてしまいます。最近特にエコ問題がクローズアップされているなか、弊社では装置がこのような待機状態となった時に、出来る限り電気容量を抑える装置運転を心がけて設計しています。

生産開始時にすぐに生産可能な状態に復帰させ、待機状態となった時はエコ運転モードとなるような装置運転制御設計を提案、実施しています。